

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	にじのそら		
○保護者評価実施期間	令和7年4月		～ 令和8年3月
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	令和7年4月		～ 令和8年3月
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年4月		～ 令和8年3月
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3施設	(回答数) 3施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 1 月 2 1 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育や療育経験のある保育士が担当しています。保育園での現場経験もあり施設側の立場にも立ち、その時その時の環境の中で行える支援を考えていきます。	保育所等には、行事などのイベントがあったり、先生方も早番、遅番などシフト制の勤務だったりするので、考慮しながらその都度モニタリング日時を相談しています。また、ケースカンファレンスの日時も各保育所等に応じて臨機応変に何っています。	保育所等訪問支援だけでなく、『相談支援』や『児童発達支援』『放課後等デイサービス』等とも連携を図り、児童や保護者の意向も十分に踏まえた個別支援計画の作成をします。
2	子育て経験もありますので保護者側にも寄り添うことができます。	各モニタリング終了後に保護者のご自宅で面談をさせていただいております。モニタリングの様子をなるべく細かくお話し、お家での困りごとなどもお聞きし一緒に考えていきます。	我が子を知っている人が増えたことが実感できるように、信頼関係を築けるようにします。できるようになった喜びを共に味わい、抱えている不安や悩み等を共有し、子育ての中で無理なくできることを提供し、楽しく子育てに向き合えるようにします。
3	多機能型施設となっておりますので『児童発達支援』『放課後等デイサービス』の事業もスムーズに移行や併用ができます。	併用している『児童発達支援』『放課後等デイサービス』を利用いただいている方には、様子も共有し、双方の環境の中でできることは何なのかを考えながら進めていきます。	情報共有を密に行い、必要な支援を提供できるようにします。

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用希望や訪問支援の頻度を上げるなどの際に、迅速に対応できないことがあります。	限られた人数で動いているため、スケジュールの調整が難しいことが考えられます。	必要に応じて人員を補充できる環境を整えられるように対応していきます。
2	家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等も参加できる研修会の情報を配信できませんでした。	保護者からの要望の声が上がらなかったことで、必要性を感じていませんでした。	家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の情報収集に努めます。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		にじのそら		公表日		令和 8 年 2 月 1 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 ・ 運 営 ・ 備	1	必要に応じて教具教材（絵カード等）が提供されているか	✓				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	✓				
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	✓				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	✓				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	✓				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	✓				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	✓				
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	✓				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	✓				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	✓				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	✓				
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー ムなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	✓				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	✓				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	✓				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	✓				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	✓				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	✓				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	✓					

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	✓				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	✓				
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	✓				
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		✓			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	✓				
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	✓				
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	✓				
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		✓			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	✓				
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	✓				
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	✓				
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	✓				
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	✓				
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		✓			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	✓				
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		✓			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	✓				
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	✓				
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	✓				
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	✓				
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	✓				

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	✓			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	✓			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	✓			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	✓			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	✓			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	✓			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	✓			